

知っていますか？



あなたの口の中にも
がんが
できることを!!

口腔がんは…

胃がんなどとは異なり、直接目でみる
ことができるにもかかわらず初期には
ほとんど無症状なため、気づいたとき
にはすでに進行がんになっていること
が多いのです。

タバコ・アルコール・刺激の強い食べ
物・合わない入れ歯による粘膜の損傷
など、慢性的な刺激による遺伝子の
異常によって起こります。

初期のうちに適切な治療が行われれば、ほぼ治癒しますが、進行がんにな
るに従い治癒率は低下します。早期発
見・早期治療が極めて重要です。

40歳を過ぎるころから発生するこ
が多く、加齢とともに増加します。

口の中のいろいろな部分にできるがん。

口蓋にも



舌にも



口唇にも



頬粘膜にも



歯肉にも



口腔底にも



口腔がんではありませんが注意が必要です！

白板症

—はくばんしょう—



口の粘膜にできた、ぬぐっても落ちない
白い変化は「白板症」かもしれません。
白板症は3~10%が癌化するので、
定期的なチェックが必要です。

紅板症

—こうばんしょう—



口の粘膜にできた、痛みや出血を伴う
赤いたなれば「紅板症」かもしれません。
紅板症は50~60%が癌化することから
早い対応が必要です。

口腔がんと間違えやすい状態

骨隆起

—こつりゅうき—

骨隆起とは、あごの骨が部分的に過剰に発育することによって生じる、いわゆる骨の「こぶ」。

口蓋隆起

—こうがいりゅうき—

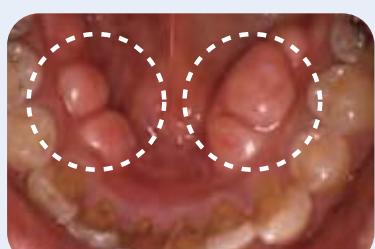
口蓋の中央部の骨の隆起です。



下顎隆起

—かがくりゅうき—

下顎骨の舌側にできる骨の隆起です。



溝舌

—こうぜつ—

舌表面に溝ができる状態です。詳細は不明ですが先天性や、慢性炎症によって起こるといわれています。



舌乳頭

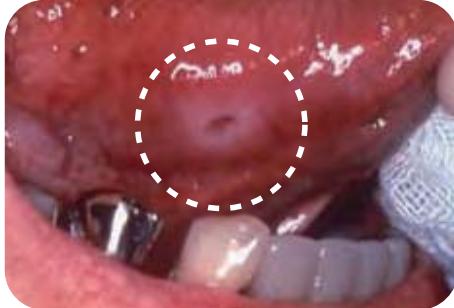
—ぜつにゅうとう—

舌の後ろや側面に膨らんだ橢円形の部分があります。これは正常な舌の組織なので病気ではありません。



アフタ性口内炎

一般的な口内炎のことです。7~10日程度で治癒するものです。原因は不明で細菌感染や疲労・ストレスなどが考えられています。



口の中、他にもこんな病気

口腔扁平苔鮮

—こうくうへんぺいたいせん—



- ・ほほがしみる
- ・ほほに網状の白い模様がある
- ・難治性

帶状疱疹

—たいじょうほうしん—



- ・口蓋、口唇に水疱が多数ある
- ・水疱がある部分にさすような痛みがある
- ・栄養不良、過労、放射線照射、感冒も原因となる

口腔カンジダ症

—こうくうかんじだしょう—



- ・舌が白い
- ・舌がぴりぴりする
- ・免疫能、感染防御機能低下も原因となる

天疱瘡・類天疱瘡

—てんぱうそう・るいてんぱうそう—



- ・口腔内に水疱ができた
- ・水疱にエアーをかけると粘膜の一部がはがれる
- ・口の中がしみる
- ・皮膚などにも症状がみられる
- ・自己免疫疾患

義歯による傷(褥瘡性潰瘍)

—じょくそうせいかいよう—



義歯調整前

義歯調整後

- ・義歯がすれて痛い
- ・ほほや舌に義歯が当たり痛む
- ・口腔粘膜に灰白色のものがある

掌蹠膿疱症

—しょうせきのうほうしょう—



- ・扁桃腺炎、歯性慢性病巣、副鼻腔炎などの感染病巣や歯科用金属アレルギーによって起こる
- ・掌蹠(手のひら、足の裏)に無菌性の小膿の出現をくりかえす

月に1回はセルフチェックをしましょう!

口の中は、鏡などを使えば自分で簡単に見ることができる場所です。
口腔がんは、胃がんや肺がんなどとは違って、
自分で初期の段階で見つけることが出来るがんなのです。

口腔がんセルフチェック

…鏡の前でチェックしてみましょう…

治りにくい傷、
入れ歯やさし歯による
当たり傷はありませんか？

なかなか消えない境
シコリ、腫れ、できものは
ありませんか？

① 唇・歯肉

歯を軽く噛み合わせ、上と下の唇を軽く指で持ち、唇の内側を観察。そのまま、前歯の歯肉も見てみましょう。



⑦ リンパ節

首やアゴの下あたりにこぶ状のものがないかを、触って確認しましょう。



② 顎・歯肉

口を開けて、顎を指で少しひっぱり、上下の奥のほうの歯肉と顎の内側を見て触って確認しましょう。



⑥ 舌の裏側

舌の裏側と下の歯肉との間の粘膜も異常がないか、見て触って確認しましょう。



③ 歯肉の内側

歯肉の内側も見ていきましょう。
(口腔用の鏡を使うと便利です。)



粘膜のただれ、赤や白に変色している部分はありませんか？

④ 口蓋（口の天井）

頭を後ろにそらして、口蓋を観察し、指で触れながらシコリや腫れ、色の変わった部分がないかを観察しましょう。



⑤ 舌

舌を前に出し、舌の表面と左右の側面を見ます。ガーゼ等で舌をやさしく挟んでそっと引張ってみましょう。色や形、引きつり、治らない傷などがないか注意してみましょう。



『歯科医』による定期的な検診を 心がけましょう!

早期発見できれば、治療後の後遺症も少なく、
治癒率の高い病気です。

だからこそ…
定期的な検診
がとても大切になってきます。

千葉県には、
口腔がん検診
を実施している市町村があります。
かかりつけの歯科医師にお尋ねください。



千葉県歯科医師会

監修・写真提供 東京歯科大学 口腔外科学講座
東京歯科大学 オーラルメディシン・口腔外科学講座